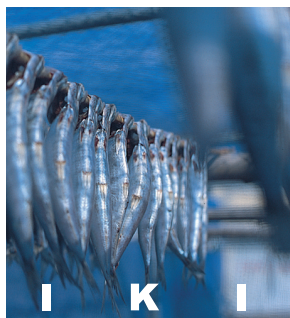


「海とみどり、歴史を活かす癒しのしま、壱岐」

人口・面積	
壱岐市	33,538人
	138.45km <sup>2</sup>
郷ノ浦町	12,600人
	47.31km <sup>2</sup>
勝本町	6,914人
	29.51km <sup>2</sup>
芦辺町	9,272人
	45.12km <sup>2</sup>
石田町	4,752人
	16.51km <sup>2</sup>

地形	
広域	東西 約15km
	南北 約17km
最大標高	212.9m( 岳ノ辻 )
周囲( 島も含む )	約191km



## 概要

壱岐市は、平成16年3月1日に郷ノ浦町・勝本町・芦辺町・石田町の4町が合併して誕生しました。

壱岐市は、福岡県と対馬の中間地点で、玄界灘に面し、福岡県博多港から郷ノ浦港まで西北76 km、佐賀県呼子港から印通寺港まで北26 kmの位置にあります。

南北約17 km、東西約15 kmのやや南北に長い亀状の島で、総面積は1338.45 km<sup>2</sup>、壱岐本島と21の属島（有人島4・無人島17）からなる全国で20番目（沖縄は除く）に大きな島です。

地形は一般に丘陵性の玄武岩をなし、高度100メートルを超える山地が占める面積は極めてわずかです。分水嶺は西に偏り、谷江川は北西から南東に、

川は西から東に流れ、その流域には、本島最大の平野（深江田原）が発達しています。

海岸線は屈曲が多く、発達した海蝕岩がみられる北東部を除けば、大小の湾入があります。特に、西岸一帯は激

しく、溺谷の原型を保っており、南東岸には、大小の砂浜が点在しています。

昭和43年7月22日に、壹岐の一部地域が壹岐対馬国定公園に指定、また、昭和53年6月16日には、辰の島・手長島・妻ヶ島の3ヶ所が海中公園地区に指定されるなど自然景観にも恵まれてます。

現在、彦岐市では「①産業振興で活力あふれるまちづくり、②福祉・健康づくりの充実で安心のまちづくり、③自然を生かした、環境にやさしいまちづくり、④心豊かな人が育つまちづくり、⑤国内外交流が盛んなまちづくり、⑥さまざまな人が関わり合うまちづくり」の6つの基本指針をもとに、「海とみどり、歴史を活かす癒しのしま、彦岐」を目指し、新しいまちづくりを進めています。

氣象

対馬暖流の影響を受け、概ね温暖な海洋性気候です。県本土の長崎市・佐世保市と比較すると、年間を通して1〜2度低く、同緯度の福岡県北部と比較すると夏季は涼しく、冬季はやや温暖で、降雪や積雪もまれです。

降水量は、6・7月の梅雨期と9月の台風、秋雨時期に多く、県本土よりはやや少ない傾向にあります。